

上位の政策名	政策目標3 個性が輝く高等教育の推進と私学の振興					
施策名	施策目標3 - 2 大学などにおける教育研究基盤の整備					
主管課 及び関係課 (課長名)	(主管課)大臣官房文教施設部計画課(課長:舌津一良) (関係課)高等教育局大学課(課長:清木孝悦)/専門教育課(課長:徳久治彦)/医学教育課(課長:小松弥生)					
基本目標 及び達成目標	基本目標3 - 2 (基準年度:H13年度 達成年度:H17年度) 国立大学等施設を重点的・計画的に整備し、大学などにおける教育研究基盤の整備を図る。					達成度合い又は進捗状況 概ね順調に進捗
	達成目標3 - 2 - 1 (基準年度:H13年度 達成年度:H17年度) 国立大学等施設緊急整備5か年計画に基づき、平成17年度までに約600万㎡の国立大学等の施設整備を重点的・計画的に行う。					概ね順調に進捗
	達成目標3 - 2 - 2 (基準年度:H13年度 達成年度:H17年度) 施設の効率的・弾力的利用を図るための施設検討委員会等の設置などの体制づくりを推進する。					想定どおり達成
	達成目標3 - 2 - 3 (基準年度:H13年度 達成年度:H17年度) 施設の効率的・弾力的利用を図るための学内規定の整備を推進する。					概ね順調に進捗
現状の 分析と 今後の 課題	各達成目標の達成度合い(達成年度が到来した達成目標については総括) 達成目標3 - 2 - 1 平成14年度の達成目標の達成については、指標を踏まえ分析を行った結果、全体計画の約45%に達しており、概ね順調に進捗している。 達成目標3 - 2 - 2 対象とする167校のすべてにおいて施設検討委員会等の設置を完了し、平成14年度の達成目標の達成については、想定どおり達成した。 達成目標3 - 2 - 3 指標を踏まえ分析を行った結果、施設の効率的・弾力的利用に関する学内規定の整備は約89%に達しており、平成14年度の達成目標の達成については、概ね順調に進捗している。					
	基本目標達成に向けての進捗状況 第二期科学技術基本計画を受け策定した「国立大学等施設緊急整備5か年計画」に基づき、国立大学等施設の老朽化・狭隘化の改善を図るため、今後、1,100万㎡の整備需要が見込まれる中、特に緊急度の高い約600万㎡の整備を実施することとしている。 平成14年度の基本目標の達成度合いについては、整備目標の約600万㎡に対し、これまでに約269万㎡(45.1%)の整備を実施していること、また、施設の有効利用に関する学内組織、学内規定の整備もほぼ完了していることから、十分に達成したと判断。					
	今後の課題 国立大学等施設緊急整備5か年計画の所要経費として最大約16,000億円を見込んでおり、今後とも必要な予算の確保に努めるとともに、重点的・計画的な整備を着実に実施していくことが必要である。					
評価結果の15年度以降の政策への反映方針 (政策評価法第11条に基づく総務大臣への通知事項)	平成15年度については、1,404億円(47万㎡)の予算を確保し整備推進を図っているところであり、平成16年度についても引き続き必要な予算を確保するとともに、施設の効率的・弾力的利用を促し、5か年計画を着実に実施する。					
指標	指標名	10	11	12	13	14
	国立大学等施設緊急整備5か年計画の達成状況	-	-	50万㎡ (8.4%)	196万㎡ (32.8%)	269万㎡ (45.1%)
	施設の効率的・弾力的利用を図るための体制づくりの整備状況	-	-	156校 (93.4%)	166校 (99.4%)	167校 (100%)
	施設の効率的・弾力的利用に関する学内規定の整備状況	-	-	80校 (47.9%)	118校 (70.7%)	148校 (88.6%)
備考	指標の各年度の数値は累積値であり、また、( )内数値は、達成目標に対する累積割合である。(母数:3-2-1:597万㎡,3-2-2:167校)					

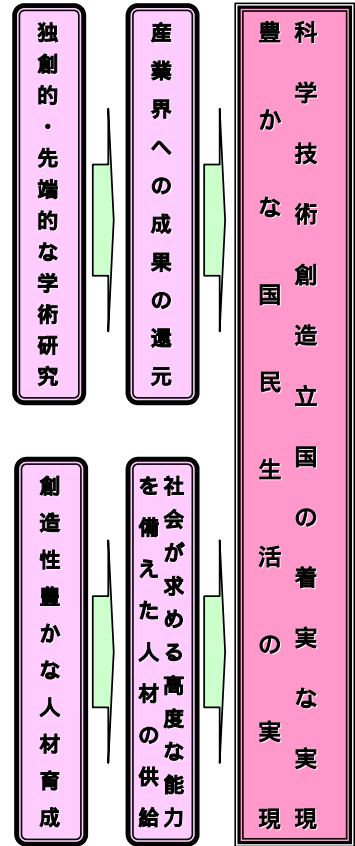
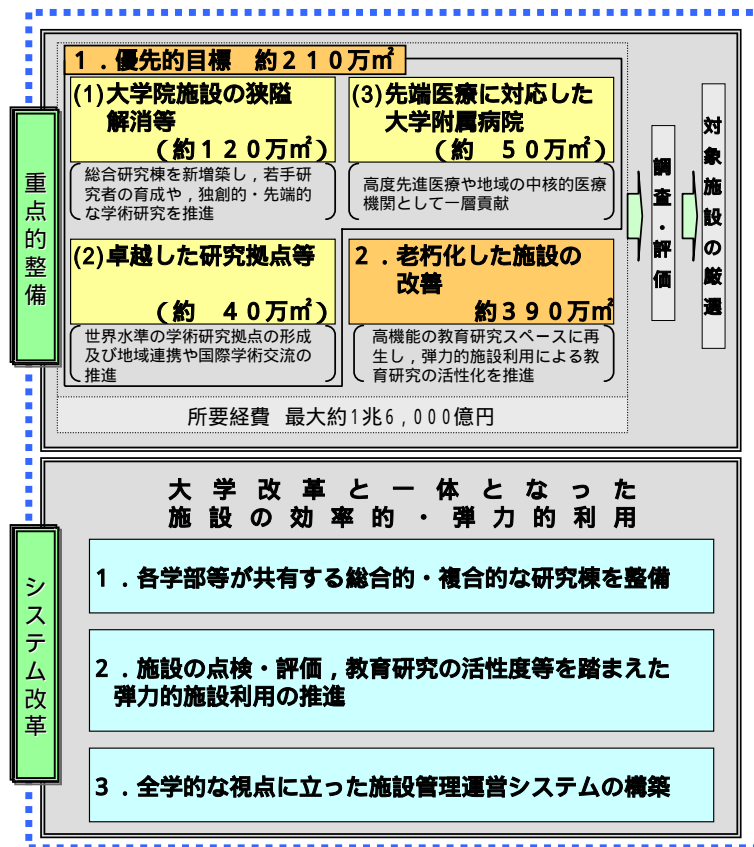
# 政策目標 3 - 2 大学などにおける教育研究基盤の整備 (国立大学等施設緊急整備5か年計画)

## 【第2期科学技術基本計画】

平成13年3月30日閣議決定

国立大学等の施設整備について、最重要課題として位置付け、科学技術振興のための基盤整備として重点的に取り組む。

## 【国立大学等施設緊急整備5か年計画】



教育研究の活性化

重点的整備

システム改革

対象施設の厳選

調査・評価

## 【国立大学等施設の課題】

国立大学等施設においては、経年による老朽化や機能劣化、大学院学生等の飛躍的な増加等による狭隘化が進むなど、その対応が喫緊の課題。

今後整備が必要な面積  
約1,100万㎡